

【表紙】

【提出書類】

臨時報告書

【提出先】

関東財務局長

【提出日】

2026年2月3日

【会社名】

三菱ケミカルグループ株式会社

【英訳名】

Mitsubishi Chemical Group Corporation

【代表者の役職氏名】

執行役社長 築本学

【本店の所在の場所】

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号

【電話番号】

(03)6748-7200

【事務連絡者氏名】

ファイナンス室
制度会計グループ長

高橋健一

コーポレート・セクレタリー室
商事法務グループ長

藤田浩司

【最寄りの連絡場所】

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号

【電話番号】

(03)6748-7200

【事務連絡者氏名】

ファイナンス室
制度会計グループ長

高橋健一

コーポレート・セクレタリー室
商事法務グループ長

藤田浩司

【縦覧に供する場所】

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものです。

2 【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2026年2月2日

(2) 当該事象の内容

当社は、当社の連結子会社である三菱ケミカル株式会社の炭素事業において、コークス及び炭素材(ニードルコークス、ピッチコークス)(以下、「本製品群」)から事業撤退することを、当社の2026年2月2日開催の執行役会議において決議いたしました。

(撤退事業の概要)

対象製品 : コークス及び炭素材(ニードルコークス、ピッチコークス)

なお、香川事業所で生産しているピッチ系炭素繊維及びそれを用いた関連製品、負極材につきましては、今回の撤退の対象ではありません。

対象事業所・所在地 : 三菱ケミカル株式会社 香川事業所(香川県坂出市番の州町1番地)

対象事業の売上高(2025年3月期実績) : 115,790百万円

事業撤退のスケジュール(予定)

・生産終了時期 : 2027年度下期

・販売終了時期 : 生産停止後、順次販売終了

なお、生産停止後、速やかに設備の撤去を進めてまいります。

本製品群の事業に携わる従業員(2026年2月2日時点) : 約600名

(3) 当該事象の連結損益に与える影響

本製品群からの事業撤退に伴い、当社の連結業績において、固定資産の減損損失、設備撤去費用及び従業員への支援措置に関する費用等を含む非経常損失として合計で約850億円を見込んであります。これらの影響につきましては現時点において評価・精査を継続しておりますが、固定資産の減損損失等については合計で約190億円を見込んでおり、2026年3月期第3四半期決算において非経常損失として計上する予定です。一方、設備撤去費用及び従業員への支援措置に関する費用等については約660億円を見込んでおり、2026年3月期第4四半期決算において見積計上する予定です。

以上